

市丸小だより

令和7年10月10日 第10号

「笑顔と感謝」

保護者・地域と市丸小「つなげるつながる」

市丸小学校 校長 守口 多恵子

～ 初めての“前期”終了 ～

おかげさまで無事、前期の活動を終えることができました。この半年で、様々な体験をし、成長した子ども達です。保護者並びに地域の皆様、ご支援をありがとうございました。

明日から初めての秋休みとなります。期間は5日と少々短くはありますが、有意義な秋休みにしてください。心新たに、後期を迎えましょう。



～ 校長室から～

昨日の「心の放送」や今日の終業式の話で子ども達に伝えた内容です。

「秋休みの校長からの『チャレンジ宿題』を出します。それは、上靴洗いです。」と話しました。

6年生が週末の宿題として、上靴洗いを出していることを、全校児童にも伝えたことがきっかけです。続けてこんな話もしました。

「家の仕事には、そうじ、せんたく、ごはんづくり、かたづけなどなど、たくさんありますね。それを家族の誰かだけがするのって、本当に大変だと思いませんか？あなたにできないことは、おうちの人にしてもらうしかないけれど、あなたにもできることをあなたがしたら、その分、家族の人はそれをしないですみますね。きっと助かると思います。嬉しいと思いますよ。ではあなたには何ができるでしょうか？

その一つに、上靴洗いがあると思うのです。これまで洗ってくれていたおうちの方へ感謝の気持ちがわくかもしれません。めんどくさいなあ、と思ったなら、その分、おうちの方の大変さに気付くかもしれませんね。自分にもできることの入り口としての上靴洗い。必ず挑戦してみてください。これから少しずつ、自分でもできる家の仕事をやってみるきっかけになると思います。

家の仕事は、子どもには難しいものがあります。そこは大人にお願いするとして、まず家族の一員として「子どもの自分にもできることは、やってみよう。」この気持ちを育みたいと思っています。上靴洗いをしたことがないお子さんには、方法を教えていただいたり、一緒にやっていただいたりするとありがたいです。ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。